

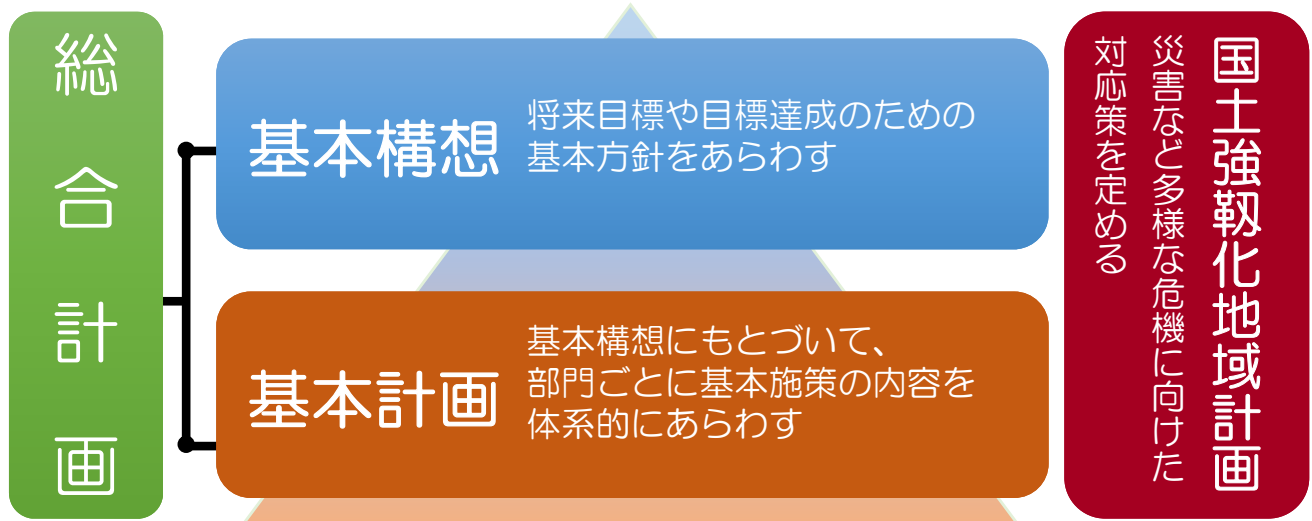
座間味村 第五次 総合計画 概要版

2022-2031

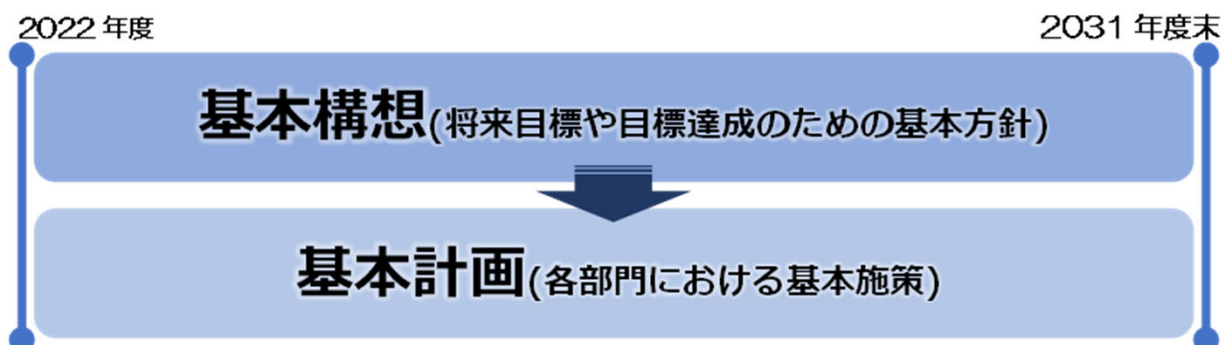
総合計画の位置づけ成り立ち、計画期間

第五次 総合計画の成り立ちは「基本構想」と「基本計画」、そして総合計画を”土台”となり支える「国土強靱化地域計画」となります。

※「国土強靱化地域計画」の詳細については計画本編をご覧ください



第五次 総合計画の計画期間は、2022（令和4）年度から2031（令和13）年度までの10年間とします。なお社会情勢の変動などにより、柔軟に計画を見直します。



村の現状・特性(抜粋)

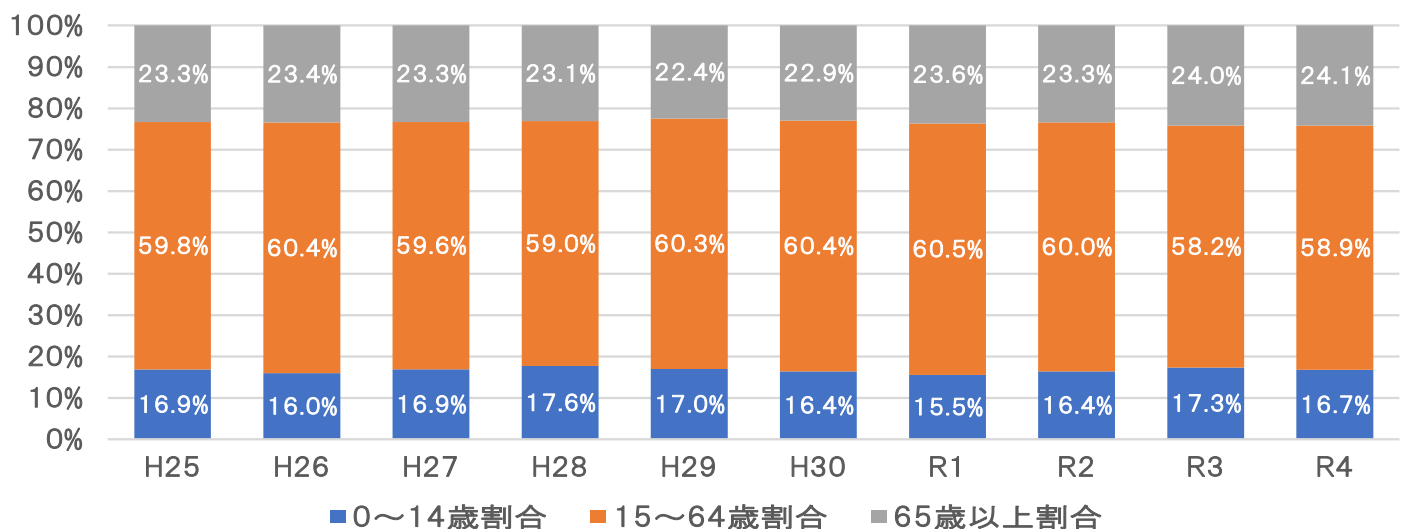
風光明媚な自然環境（2014年慶良間諸島が国立公園に指定）

慶良間諸島国立公園は2014年3月5日に指定され、多くの来訪者を魅了しています。ケラマジカが生息しており、また、ザトウクジラの繁殖場所としても知られています。



高齢化の進行

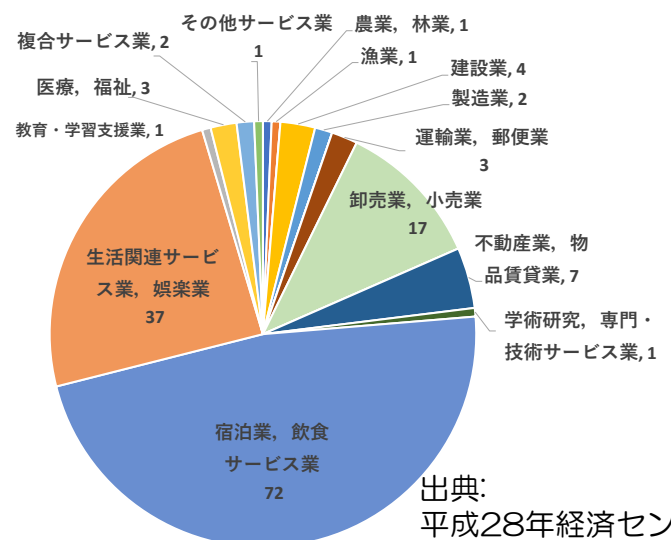
本村の人口構成をみると、2022年度の高齢化率は24.1%となっており、徐々に高齢化が進行しているため、高齢者等の健康づくりに対する取組や高齢者を支える人材確保に備える必要があります。



出典:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

宿泊業・飲食サービス業など第3次産業への依存

観光関連産業の多くは「代替わり」の時期を迎えており、人材の育成とともに事業継承の課題を抱えています。



課題の整理

社会情勢、村の現状・特性、住民意向より課題を整理しました。

- 課題1： 住みやすさを活かした生活環境の形成や移住・定住への展開
- 課題2： 生活環境や医療等の安全・安心のまちづくりの必要性
- 課題3： アフターコロナ社会における地域資源を生かした観光産業の立て直し
- 課題4： 観光産業と連携した農業・漁業などの第1次産業の活性化
- 課題5： これまでに整備した施設・地域資源の有効活用による効率的な行財政運営

見直しの視点

社会情勢の変化や課題の整理を踏まえ、4つの見直しの視点を整理します。

視点① 整備した施設・設備を最大限に活用・運用する「村の第2ステージ」のための計画づくり

視点② 「適正なバランス」の村人口・観光客数を維持するための計画づくり

視点③ 社会情勢の変化に対応する「強さ・しなやかさ・持続力」を備えるための計画づくり

視点④ 財政を踏まえた「不足と無駄のない」健全化を目指す計画づくり

将来像と目標

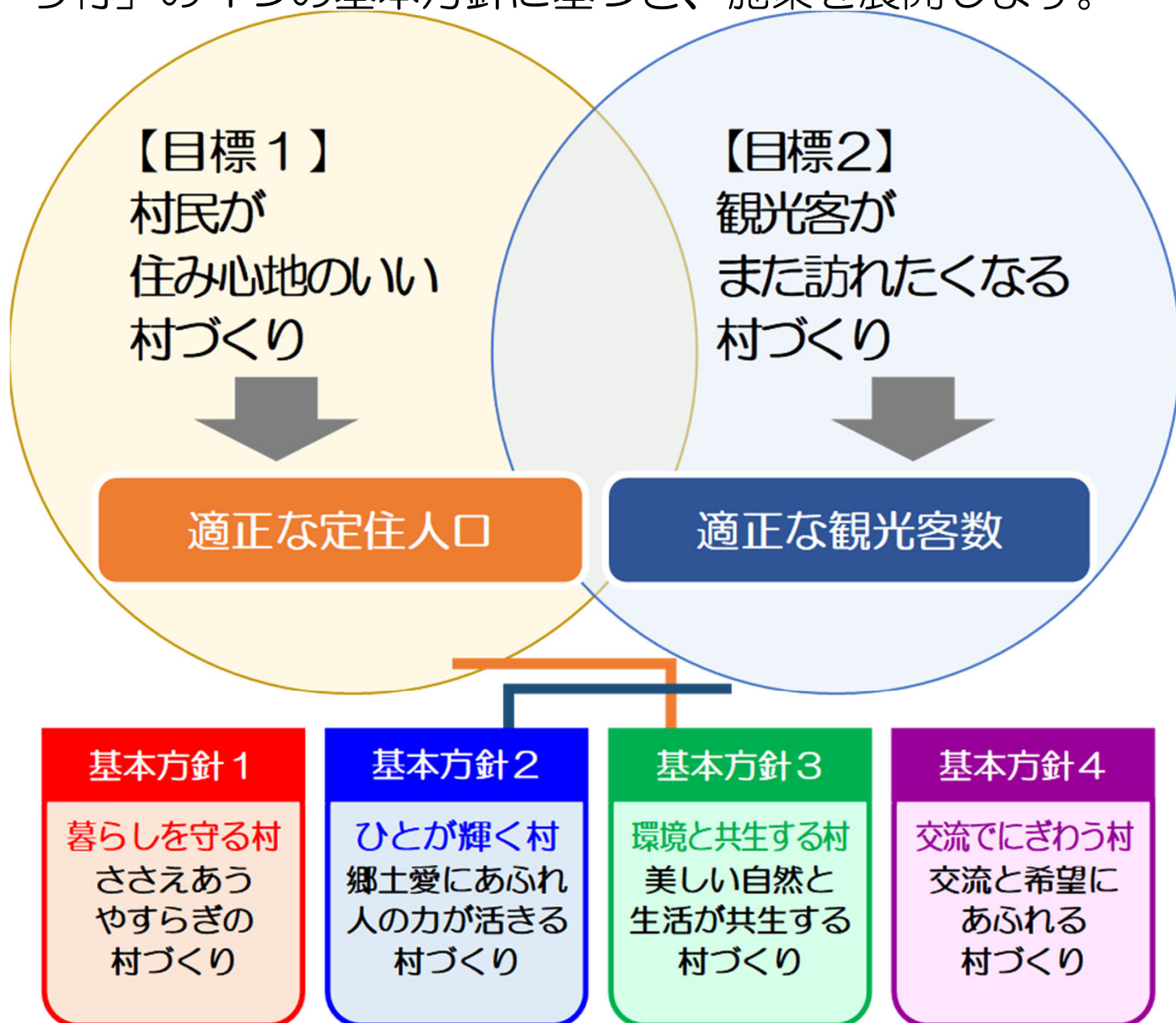
この財産に愛着や誇りをもって、村民の生活や来島者との交流活動などの活動と共生しながら次代に継承していくことを願って、第五次の村の将来像を以下のとおり設定します。

村の将来像

豊かな自然と地域資源を愛し、人が住み・集う座間味村

「村民が住み心地のいい村づくり」と「観光客がまた訪れたくなる村づくり」の2つの目標を掲げ、適正な定住人口と観光客数を10年後の目標指標とします。

さらに、2つの目標を実現するために、「暮らしを守る村」、「ひとが輝く村」、「環境と共生する村」、「交流でにぎわう村」の4つの基本方針に基づき、施策を展開します。



村づくりの基本方針

基本方針1 暮らしを守る村 ～ささえあう やすらぎの村づくり～

高齢者や障害者が地域で自立し、安心して暮らすことが出来る地域づくりを目指します。

島ならではの暮らしができるように住民の生命 健康 財産を守るよう防災体制の確立や情報ネットワークの更なる整備を図り、島ちゃび（離島苦）を解消します。

基本方針2 ひとが輝く村 ～郷土愛にあふれ 人の力が活きる村づくり～

村民一人ひとりが地域の一員であるという自覚と誇りを持ち、地域のために積極的に行動し、地域と行政が連携することによって、村民が生き生きと生活し、夢と希望が持てる活力ある地域づくりを目指します。

基本方針3 環境と共生する村 ～美しい自然と生活が共生する村づくり～

自然保護へのさらなる取組や誰もが訪れたくなるような景観をつくり、世界的な自然環境と住民の生活環境を調和させた村を目指します。

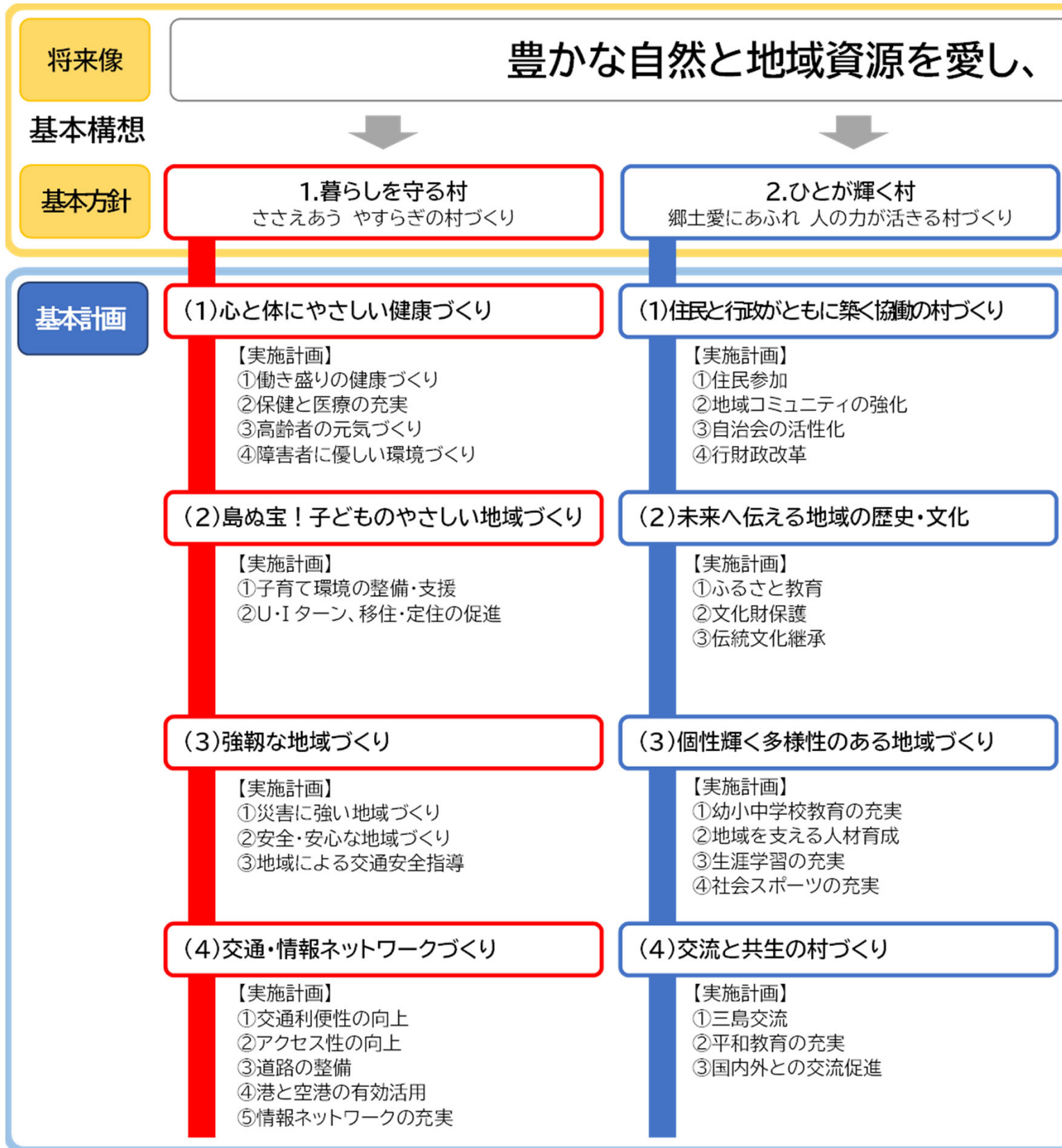
また、これまで上下水道、道路、ゴミ処理など生活環境の整備を図ってまいりましたが、引き続き自然環境に配慮した公共基盤整備を行っていきます。

基本方針4 交流でにぎわう村 ～交流と希望にあふれる村づくり～

本村ならではの地域力で、ここにしかない価値を確立し、国際的な観光地を目指します。

また、農水産業と観光業のリンクにより、観光客の年間平準化と特産品開発へとつなげて雇用を創出することにより、いったんは進学で島を離れた若者が、次世代の担い手として島に戻りたくなるような村づくりを目指します。

村づくりの体系



人が住み・集う 座間味村

3.環境と共生する村
美しい自然と生活が共生する村づくり

(1)自然と調和した村づくり

【実施計画】

- ①世界に誇る自然環境の保全
- ②南の離島ならではの景観保持

(2)脱炭素社会への対応

【実施計画】

- ①適切な廃棄物処理
- ②クリーンエネルギーの活用

(3)安全・安心な生活環境づくり

【実施計画】

- ①水道水の安定供給
- ②観光地にふさわしい環境衛生

(4)地域資源を生かした村づくり

【実施計画】

- ①公共施設・資産の有効活用
- ②地域資源を生かした村づくり

4.交流でにぎわう村
交流と希望にあふれる村づくり

(1)戦略的な観光地づくり

【実施計画】

- ①官民での観光推進・受入体制の強化
- ②ターゲット設定と商品開発
- ③座間味村観光の「新たな価値」の創出

(2)世界が恋する“座間味ブランド”の確立

【実施計画】

- ①安全、清潔、親切表示は
“座間味ブランド”の第一歩
- ②観光客に約束する“座間味ブランド”
- ③全村挙げてのもてなしこそ“座間味ブランド”
- ④インバウンド対策

(3)村を挙げてのプロモーション

【実施計画】

- ①タイムリーで魅力的な情報発信
- ②メディア取材や映像作品の誘致
- ③座間味ファンやオピニオンリーダーの活用
- ④誘客イベント

(4)観光を支える農水産業の活性化

【実施計画】

- ①地域に根ざす産業の維持・活性化
- ②若い世代への継承・人材育成
- ③産業間のネットワーク機能の整備
- ④海は最高、食も最高～
特産品、特産メニュー開発

